

第189回 令和8年3月6日（金）

「小倉という町の話。」

小倉は戦時中に軍事的に重要な都市で、「小倉陸軍造兵廠」があり、この施設では弾薬や兵器が生産されていたためアメリカ軍にとって重要な攻撃目標でした。1945年8月6日に広島に原爆が投下された後、アメリカ軍は次の投下目標として、小倉を第一候補、長崎を第二候補に設定しました。広島に続く第二の原爆（「ファットマン」）を日本に投下する作戦が準備され、最初の目標は小倉市となりました。

小倉は投下当日の1945年8月9日に曇りや煙が広がっており、爆撃機の視界が悪かったとされています。アメリカ軍は当時、「目視照準」による爆撃を行う予定でしたが、目標となる「小倉陸軍造兵廠」を確認できないほどの悪天候でした。また小倉市では防空設備として煙幕を使用しており、これが爆撃機の視界をさらに悪化させていました。これが結果的に小倉を守る要因となつたとされています。

原爆を搭載したB-29爆撃機「ボックスカー」は航行中に燃料を多く消費しており、タンクの残量が少なくなっていました。天候が回復するのを待ち続けることができず、燃料の制約のために小倉での投下を諦め、次の候補地である長崎へ進みました。

第二目標として設定されていた長崎は、小倉に比べて天候がやや回復しており、視界が確保され始めていました。爆撃機が目標を変更し、長崎への投下が実行されました。

長崎では、1945年8月9日午前11時02分に原爆（ファットマン）が投下され、市街地に甚大な被害をもたらし、約74,000人もの犠牲者を出しました。小倉市は、原爆投下を免れたことで大きな被害を回避しました。後に「九死に一生を得た都市」として語り継がれることとなります。

小倉出身の有名人にはこのような人がいます。

松本清張（まつもと せいちょう） 職業：作家、推理小説家 代表作：『点と線』『砂の器』『ゼロの焦点』日本を代表する推理小説家であり、社会派小説の第一人者。この分野の発展に大きく貢献しました。北九州市においては松本清張記念館が設置され、彼の功績が讃えられています。

林芙美子（はやし ふみこ） 職業：作家 代表作：『放浪記』

「放浪記」を通じて自由な感性を持つ作品を発表し、昭和文学に大きな影響を与えました。

陣内孝則（じんない たかのり） 職業：俳優、映画監督、歌手 九州男児らしい熱い演技と幅広い役柄で活躍。映画やドラマでのカリスマ的存在です。音楽分野でも活動を行い、マルチに活躍するタレントです。

井上尚弥（いのうえ なおや） 職業：プロボクサー 小倉出身で、世界チャンピオンに輝く日本ボクシング界のスーパースターです。

他にもたくさんいますが、小倉に原爆が落ちていればこの人たちは今頃いなかったかもしれません。